

# 学校コントラバス救済作戦

since 2016

～音との出会いに輝く顔が見たい～

何年も弦が張り替えられていなか  
ったり駒が曲がっていたりして  
弾きづらい...

学校に正しいメンテナンス方法を  
知っている人がおらず、調整が難  
しいために良い音がしない...。  
こんなコントラバスには  
メンテナンスがおすすめです。



「学校コントラバス救済作戦」では、  
学校コントラバスを良い状態に保ち、良質な音を届ける活動をしています。

音楽を楽しみたい生徒さんたちの  
音との出会いに輝く顔が見たい

学校コントラバスでお困りのことがあれば、まずはご相談ください。



- 音楽家や楽器職人から無償提供されたリユース弦で、コントラバス奏者が弦交換イベントを実施します。
- その際に奏法の学び方や、メンテナンスの重要性をお伝えします。

## about us

任意団体 soulstation

代表 吉木 稔

eMail: [soulstation.yoshiki@gmail.com](mailto:soulstation.yoshiki@gmail.com)



学校コントラバス  
救済作戦活動報告



中日新聞取材記事

しっかりとした低音を弾く奏者の「喜び」。その低音に包まれてアンサンブルする共演者の「愉しさ」。その「喜び」「愉しさ」が詰まったバンドサウンドが観衆に届き「感動」が場を包む。その「感動」が伝わることで奏者の「喜び」になり、音楽文化を育む好循環が生まれる。



長期間メンテナンスを行わないことで反ってしまったコントラバスの駒。楽器職人への依頼が必要です。



裏板（背中側）の剥がれ。弓が折れている。楽器職人への修理依頼が必要です。



弓の毛が茶色に変色や毛が抜けて本数が少ない。楽器職人に毛替え依頼が必要です。

弓の毛替え後。新しい毛になり、弾きやすくなります。



駒の傾き。この程度なら、私たちが微調整できます。



リユース弦を利用して、私たちが弦を交換します



私たちが出来る範囲での微調整と弦交換。良い音になりました！

一人でも賛同者が増えて、温かくて生きている音楽が世界中で鳴り続けて欲しいと思います。